

産業能率大学 情報マネジメント学部

産業心理学	履修年次	2	
	単位	2	
椎野 睦	配当期	前・後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>産業心理学とは、発達心理学、性格心理学、社会心理学、学習・認知心理学、臨床心理学など心理学の様々な領域の基本的な知見をもとに、産業活動に携わる人々や組織について探求する学問であり、応用心理学の一部門である。</p> <p>本講義では、まず始めに「なぜ働くか?」「大人とは?」というテーマから働くことの心理を考える。私たちにとって「働く」ということは生きていく上で最も重要な活動の1つである。では、より良く働くためには、そしてより良い人生を送るためにはどのようなことが働く上で大切なのか、その問いから考える。そして、より良く働くために役に立つ心理学の知識と技術を総合的に学ぶ</p> <p>[担当教員の実務経験]</p> <p>職域病院にて臨床心理士として勤務し、就労者のメンタルヘルス業務に長年携わる。具体的には、個別カウンセリング、リワークプログラム、人間ドックの結果に基づくストレス面接、被災地支援、性格検査、心理療法等を担当。また海上保安庁第三管区メンタルヘルス専門官を兼任している。</p> <p>[実務経験に基づく項目]</p> <p>就労者のメンタルヘルス、健康経営、ビジネス・コミュニケーション、アフェクトマネジメント、キャリア分析、性格分析 等</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・人間心理とキャリアの関係性について理解することの重要性を認識し、自分自身のキャリア発達に活かすことができる。 ・仕事において求められる能力やコミュニケーション・スキル、職場のストレスマネジメントについて学び、キャリア発達に活かすことができる。 ・就職活動や職場に適應するための能力として、心理学的知識を活用することができる。 			
成績評価の方法			
出席・小テストで講義に対する参画度・理解度を評価し、復習テストで授業外学習を評価し、定期試験で全体的な理解度と知識定着度を評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	産業心理学とは総論	8	キャリア心理学(キャリアマネジメント)
2	性格の理解と対人交流パターン	9	個人心理学 劣等感と人間関係
3	主張と心理	10	集団心理・集団行動とコミュニケーション
4	ビジネス・コミュニケーション①(言語マネジメント)	11	職場のメンタルヘルスとソリューション ストレスと精神疾患
5	ビジネス・コミュニケーション②(感情マネジメント)	12	職場のメンタルヘルスとソリューション 経営と人間関係
6	ビジネス・コミュニケーション③(非言語マネジメント)	13	ビジネス・コミュニケーションとサイコロジカルタイプ
7	キャリア心理学(キャリア概論)	14	総括